

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2455
部名	財務部	課名	資産税課	課長名	内田 豊
事務事業名	土地使用図修正業務委託				
予算上の事務事業名	土地使用図修正等業務委託				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標					
政策名					
基本施策名	事業開始年度				
施策名	昭和63年以前 ▼				
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地方税法、同施行令 相模原市市税条例、同施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
適正な課税事務を行うために毎年、地番及び家屋の数値図形データの修正を行い、現地調査のための課税資料としての土地使用図・地番編集図を作成する。			市全域、土地及び家屋異動のあったもの。		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1. 分合筆等修正 8,200筆 2. 家屋異動修正 4,300棟 3. 土地使用図(縮尺1/600) 1,116枚 4. 地番編集図(縮尺1/2,500) 48枚					
6 関連・類似事業や他市の状況					
修正した、図面を基に路線価調査のための図面作成にも活用している。 他市においても、同様な図面を作成し検証していることから、必要性は高い。(大和市ほか)					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	14,196	13,786	13,167	13,093	13,093
一般財源	14,196	13,786	13,167	13,093	13,093
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計(a)	14,196	13,786	13,167	13,093	13,093
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	土地使用図修正等業務委託		対象名称(単位)	市域全土地(筆) H16年からは路線も含む	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	14,196	13,786	13,167	13,093	13,093
対象数	248,379	250,644	252,717	255,724	255,724
単位あたり経費(円)	57	55	52	51	51
前年度比		0.96	0.95	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	作成図面（枚数）	指標式と指標の説明		目標作成図面÷作成図面	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1,117.0	1,116.0	1,116.0		
目標	1,117.0	1,116.0	1,116.0	1,116.0	1,116.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	土地使用図活用率（率）	指標式と指標の説明		作成図面÷活用図面	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1117.0	1116.0	1116.0		
目標	1117.0	1116.0	1116.0		
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		毎年の土地現況調査において活用し、翌年課税のための土地の現況把握及び家屋の新築、滅失の把握にも活用されており、適正な課税に役立っていることから、重要な内容であり、今後も継続して行う事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
土地使用図にできるだけ多くの土地データを効率よく反映し精度を高めるよう扱う項目について検討をしていく。			今後のOA化の進展やGISシステムなどと関連してさらに高度、広汎な活用がなされる可能性がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			